

【全般的考察】

- 前期に引き続き、全体的に高い評価結果となりました。「4 よくあてはまる」「3 だいたいいあてはまる」の合計を肯定的意見とすると、「学校の教育活動」、「教育環境」、「家庭・地域と共にある学校」の全ての項目について、保護者評価が95%以上、地域評価が100%でした。また、「児童の様子」の全ての項目についても89%以上と高い評価結果となり、前期からの成長を感じています。今年度の取組にご理解をいただいていることに感謝申し上げます。更なる向上に向けて取り組んで参ります。

【「教育活動」考察】

- 「教育目標にそった教育（指導）がなされている。」が100%、「全体的に活気があり、明るく楽しい雰囲気である」が99%と肯定的評価が高く、学校のテーマである「Smile & Challenge」が、子ども・保護者・教職員に浸透し、楽しく活気のある学校生活につながっていると思います。
- 学力向上に関しては、肯定的評価は前期よりも2%増えたものの、「4 よくあてはまる」の割合が少し下がっています。12月に実施した学力調査の結果では、全国平均を上回った学年が多かった一方で、学年によって全国平均との差にばらつきがありました。保護者の方々にも日々の学力向上に対する取組と成果が伝わる指導に心がけていきたいと思っています。また、成果のあった取組と今後の課題を共有し、次年度の学力向上対策に活かしていきたいと思っています。
- 「体力向上」、「健康や食に関する教育」については、「4 よくあてはまる」の割合が、それぞれ10%、19%増えています。毎年継続して取り組んでいるランランタイム、ジャンプローププロジェクト、姿勢体操、四小メディアルールのチェック、ヘルシークッキングなど、児童の体力向上と健康や食に関する具体的な取組を評価していただいたと感じています。今後も児童が達成感を感じながら、体力をつけたり、生活習慣を見直したりできる機会を作っていきます。
- 学校生活上のトラブルやいじめについての対応では、早期発見、早期対応に心掛け、解決に至るまで、子どもに寄り添った指導に努めています。肯定的評価は高いものの、否定的評価が4~5%ある点については、真摯に受け止め、日頃の児童観察を丁寧に行い、児童が安心して過ごせる学級づくりに励んで参ります。

【「教育環境」考察】

- 全ての項目で「4 よくあてはまる」の割合が増えました。

2学期から毎週水曜日に縦割り掃除を始め、高学年を中心に異学年で協力し合いながら清掃活動に取り組んでいます。異学年で取り組むことで、高学年が掃除の仕方を教えたり、下級生が意欲的に掃除に取り組んだり良い効果が見られます。

環境面では、毎月の安全点検に加え、日頃から危険箇所への配慮を行い、安心安全な環境作りを行うとともに学習効果や感性を高める掲示教育を進めています。

年3回の避難訓練では、2学期に消防署や消防団と合同で訓練を行い、3学期は不審者対応の訓練を行い警察の方から助言をいただきました。今後も、いざという時に命を守る行動が取れる児童を育てていきます。

【「地域と共にある学校」考察】

- 全ての項目で「4 よくあてはまる」の割合が60%を超え、前期よりも向上しています。今年度は、特別活動のクラブ活動に「杉谷スマイルクラブ」を創設し、地域の方々と踊りやボッチャ、ウォーキングといった交流を行いました。また、「ふるさと杉谷の会」で意見が挙がっていた鬼火の際のウォーキング大会の復活など、地域の方々と交流する機会が増えました。

12月には、「杉谷まちづくり協議会」が設立され、今後、地域と連携・協働した教育活動のさらなる充実を図ることが可能となり、ふるさと教育をさらに推進していきたいと思えます。学校・家庭・地域が一体となって、杉谷の子どもたちを杉谷のみんなで育てていきましょう。
- ホームページでの情報発信については、学校行事や授業の様子など、児童の学びの姿が保護者や地域の方々に伝わるよう、できる限り早くわかりやすく伝えていくよう心掛けています。また、今年度からホームページ管理の見直しを行い、防犯の観点から下校時刻のお知らせはホームページ上での掲載を止め、安心メールでの配信へと変更、食育だよりや保健だよりといったお便り関係も挿絵等の著作権に配慮し、安心メールでの配信へと変更しております。ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【「児童の様子」考察】

- 「毎日元気に登校している」、「楽しく安心して過ごしている」の項目では、保護者評価の肯定的意見が99%、98%と高評価となっており、「4 よくあてはまる」の割合も増えています。一方で、地域評価は肯定的意見が100%ではあるものの、「4 よくあてはまる」の割合が減っています。今後も、朝から元気に歩いて登校する児童の姿が増えるよう魅力的な学校づくりと基本的な生活習慣を身に付けさせる指導に努め、いきいきと生活する様子を地域にも伝えていきます。
- 「子どもは、相手の立場や気持ちを考えた言動ができている。」の項目は、保護者評価において、「4 よくあてはまる」の割合が8%増え、「2 あまりあてはまらない」の割合が2%減っており、全体的に改善が見られました。日頃の生活指導の成果とご家庭でもしっかりと指導を行っていただいたおかげだと感じています。
- 「気持ちのよいあいさつをしている」の項目は、保護者、地域共に肯定的評価が高く、「4 よくあてはまる」の割合が、前回よりも保護者評価が3%、地域評価が22%増えています。学校だけでなく地域でも元気で気持ちのよいあいさつに心掛けようとする子どもたちが確実に増えています。一方で、保護者評価の否定的意見は前期とあまり変わらない11%となっており、今後も気持ちのよいあいさつが習慣となるよう指導を続けます。ご家庭でも日頃から元気なあいさつを交わすふれあいをお願いいたします。
- 「授業中、生き生きと学習に取り組んでいる」、「家庭学習の習慣が身についている」の項目は、保護者評価の肯定的意見がそれぞれ2%、4%増えました。特に、家庭学習については、「4 よくあてはまる」の割合が7%増え、否定的評価が7%減っています。家庭学習の習慣が着実に定着してきており、ご家庭の協力に感謝いたします。今後も、習慣化できていない児童への指導を続け、学校での前向きな学習態度に繋げていきます。ご家庭でも声かけをしたり、一緒に取り組んだりご協力をお願いいたします。

- 「進んで外遊びや運動をしている」の項目は、保護者評価の「2 あまりあてはまらない」が前回増えていましたが、今回は前回から8%減っており、肯定的評価も92%と高評価となりました。最近では、サッカーや一輪車などの遊びに加え、縄跳びで遊ぶ児童も増え、昼休みの運動は賑わっています。
- 「基本的な生活習慣が身につけている」の項目では、保護者評価の「4 よくあてはまる」の割合が5%増えている一方で、「2 あまりあてはまらない」が2%増えています。指導の成果が見られる反面、依然として改善が十分でない児童も見られます。学校では、今後も基本的な生活習慣の定着に向けて継続して指導してまいります。改善にはご家庭との連携が不可欠です。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 「社会や学校のルールやマナーを身につけている」の項目では、保護者評価の肯定的意見が2%増え、「4 よくあてはまる」の割合は9%増えており、地域評価と共に全体としては高評価ではありますが、地域評価においては、「4 よくあてはまる」の割合が減っています。今年度も、放課後の公民館の利用の仕方について度々指導することがありました。学校だけでなく、地域の公共施設等においても、ルールやマナーを守って過ごせるよう引き続き指導を続けて参ります。ご家庭でも折に触れてご指導いただければと存じます。
- 「地域や子ども会の行事に進んで参加している」の項目では、前回に比べ、「1 あてはまらない」が0%に減りましたが、「2 あまりあてはまらない」が8%となり、否定的評価が2%増えてしまいました。今年度、鬼火では、ウォーキング大会の実施や豚汁の提供もあり、昨年よりも多くの児童が参加していました。地域行事の活性化は、児童の積極的な参加に繋がります。今後も育友会や地域団体と連携し、魅力的な行事を増やしていきたいと存じます。

《保護者・地域関係者の記述意見に関して》

- 育友会の組織改革への賛同意見をいただきました。一方で、子どもの人数の減少に伴い、活動自体が出来にくくなっている現状を踏まえ、子ども会の運営についても統合などを含め検討できないかというご意見もいただきました。今後、子ども会の在り方については、保護者の皆様と考えていかねばならない課題の一つだと感じています。ただ、子ども会によっては、町内会から補助金をもらっている子ども会もあり、統合という面では町内会との兼ね合いも考慮しながら慎重に議論していかねばならないと存じます。各子ども会におかれましては、今後の運営の在り方など、町内で議論をされ、他の町内とも意見交流を図っていただければと思います。
- 家庭でのタブレット学習を増やすべきだというご意見をいただきました。一人一台端末の導入に併せて、家庭のWi-Fi環境を整備していただいたご家庭も多いかと思えます。タブレットの持ち帰りについては、これまでも賛否両論のご意見をいただいております。タブレット学習とプリントやノートでの学習については、それぞれのメリットを生かしながら取り入れているところです。また、インフルエンザ等の感染症で登校できない児童については、ご家庭のご要望に応じてタブレット学習やオンライン学習にも取り組ませています。ご意見を踏まえ、再度、家庭でのタブレット学習については、検討を進めて参りたいと思えます。
- 宿題の量が少なく、漢字を覚えられていないというご意見をいただきました。宿題については、基礎的な学力の定着を図ることを基本としつつ、まずは、毎日取り組めるよう習慣化を図るため、学年の発達段階や児童の実態に応じて量を調整しております。漢字の定着については、宿題以外にも小テストやタブレットドリルを活用しながら定着を図っているところですが、スモールステップで児童が達成感を感じながら、継続して前向きに学習に取り組み、力を高めていけるよう指導を工夫していきたいと存じます。また、ご家庭でも丁寧に書いているか、間違っただけを書いているかなど確認をしていただけると助かります。

- 旗当番で登校を見守っている時に、あいさつをしない子、しても声が小さい子が多かったというご意見をいただきました。学校評価では、気持ちのよいあいさつの評価は高まっていますが、まだまだ習慣になっていない児童も多いのではないかと思います。特に、朝のあいさつができなかったり、声が小さかったりするのには、生活習慣にも原因があるかもしれません。引き続き、早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けさせ、朝から元気よく気持ちのよいあいさつができるようにご家庭と協力して子どもたちを育てていきたいと存じます。
- 授業内容や生活指導のために授業が自習になることについてご意見をいただきました。保護者の方にはご心配をおかけして大変申し訳ありませんでした。今後も、子どもたちが「できた」「わかった」と安心して学べる学級づくりや授業の改善について、全職員で研修を深め、取り組んで参ります。
- 下校時、通学路ではない所を帰る子を時々見かけると地域の方からご意見がありました。学校でも再度指導を行いますが、ご家庭でもきちんと通学路を帰って来ているかご確認をお願いいたします。

お礼や励ましの言葉、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。これからも学校・家庭・地域の連携・協働のもと、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えていきたいと思っております。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。